

私の留学体験記

広島県立西条農業高等学校 1年 堂鼻 大樹（どうはな たいき）

留学期間 平成29年10月19日～平成29年11月1日（2週間）

留学先 シカゴ農業高校、イリノイ州立大学(アメリカ合衆国（シカゴ市、ノーマル市））

私は10月21日から2週間の間、SSH事業の一環でアメリカへ研修に行きました。

最初の1週間はシカゴ市にあるシカゴ農業高校(CHSAS)に行き、ホームステイを行いました。シカゴ農業高校はマグネットスクールと呼ばれ、その地区では大きい高校でした。CHSASでは校内見学や授業体験、また、ダウンタウンにて研修や交流を行いました。CHSASは日本の一般的な高校と違い、選択した授業だけを受けるといったような形で授業が行われていました。色々な学科があり、それぞれの学科によって受ける授業が全く違いました。休日の日にはダウンタウンに遊びに行きました。ダウンタウンではフィールド博物館とミレニアムパークに行きました。博物館は世界的に有名で、ティラノサウルスの本物の全身の骨格化石が展示されていました。夜には今回研修に参加したメンバーとそのホストファミリーとが集まってホームパーティーなども行われ、とても楽しく充実した1週間を過ごすことができました。

残りの1週間は、ノーマル市にあるイリノイ州立大学(ISU)に行き、違う家族のもとでホームステイを行いました。ISUでは大学内、大学周辺の見学や、大学農場の見学、観光農場、普通科の高校に行きました。大学内にはイリノイ州に生息しているすべての種類の木が植えられており、そのほかの植物も多く植えられていました。また、大きなスタジアムやドームがあり、スポーツのシーズン中には多くの人々が観戦に訪れるそうです。大学から少し車で移動したところに大学農場があり、牛、豚、羊を飼育しており、その他多くの作物が栽培されていました。観光農場では自動搾乳機があり、農業の進歩が感じられました。最終日に行った普通科の高校では、CHSASとは違い、日本と同じようなシステムで授業が行われていました。出発の前夜には食事会を開いてもらいました。ISUでもとても良い1週間を送ることができました。

今回の研修では、日本とは違う環境の中、とても良い経験をすることができました。最初の頃は慣れない英語の会話で通じるかどうか心配なこともありましたが、アメリカの人はみんな優しく、必死に聞こうとしてくれたのでとても助かりました。食べ物もおいしく、生活にも困らなかったのも、安心して暮らすことができました。今回の研修で学んだことを学校生活でも生かせるようにしていき、英語にも、さらに力を入れていきたいです。

